

在宅医療・介護を考えるシンポジウム in 豊川

参加者アンケート結果

名称：在宅医療・介護を考えるシンポジウム in 豊川

実施日：平成26年11月30日（日）14：00～16：50

延べ参加者数：238名

アンケート提出者数：172名

アンケート回収率：72.27%

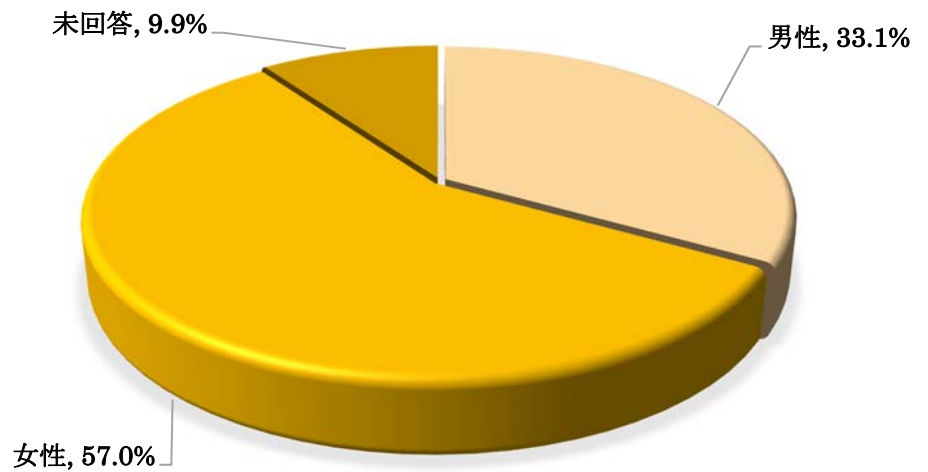


【アンケート回答者の状況】

1 性別

男性： 57名
女性： 98名
未回答： 17名

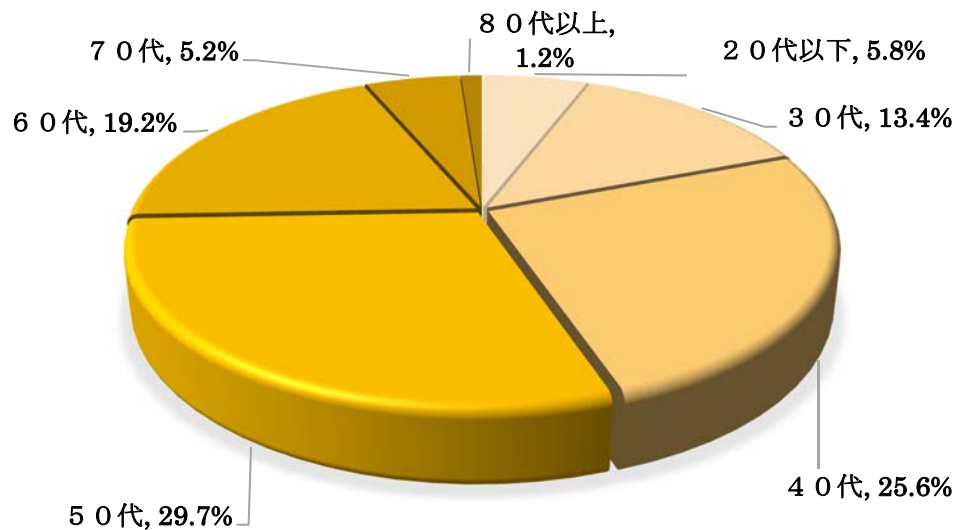
合計： 172名



2 年齢

20代以下： 10名
30代： 23名
40代： 44名
50代： 51名
60代： 33名
70代： 9名
80代以上： 2名

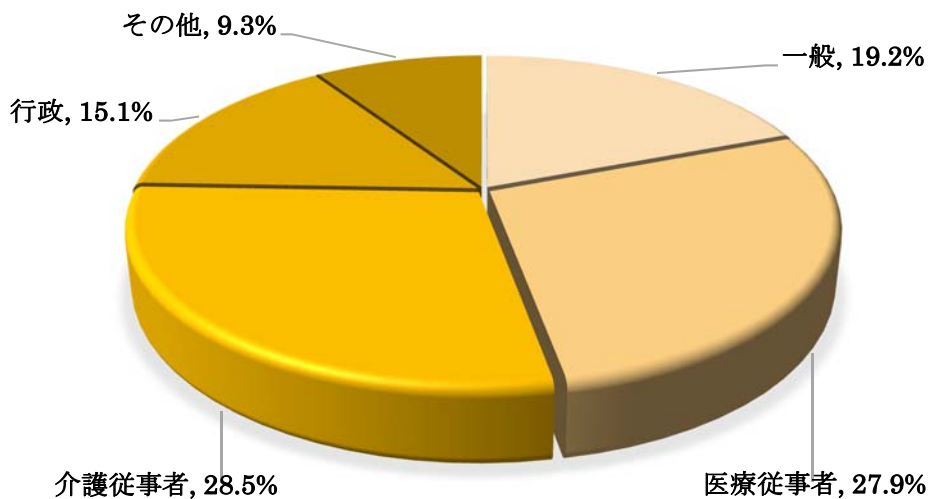
合計： 172名



3 職種

一般： 33名
医療従事者： 48名
介護従事者： 49名
行政： 26名
その他： 16名

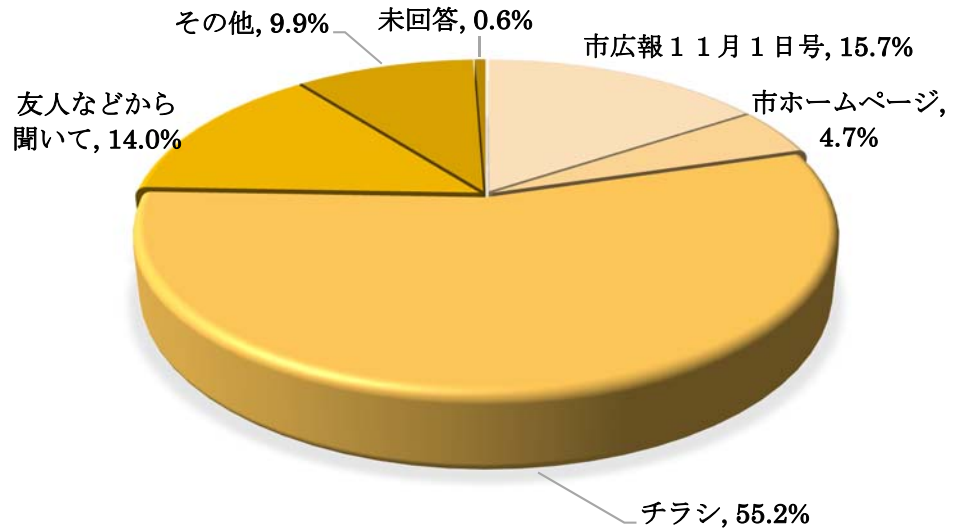
合計： 172名



【回答者全体でのアンケート結果】

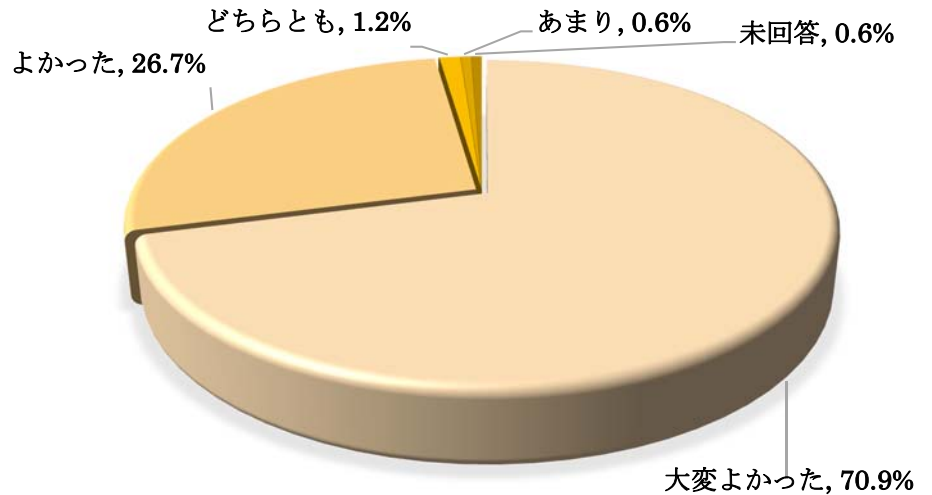
1 本シンポジウムについて、どこでお知りになりましたか？

市広報11月1日号：	27名
市ホームページ：	8名
チラシ：	95名
友人などから聞いて：	24名
その他：	17名
未回答：	1名
<hr/>	
合計：	172名



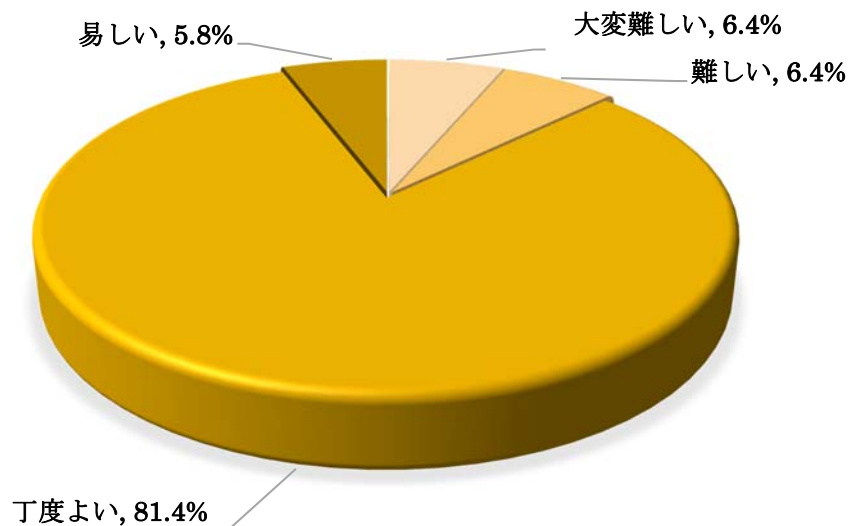
2 プログラム中、基調講演について、全体としてはいかがでしたか？

大変よかった：	122名
よかった：	46名
どちらとも：	2名
あまり：	1名
未回答：	1名
<hr/>	
合計：	172名



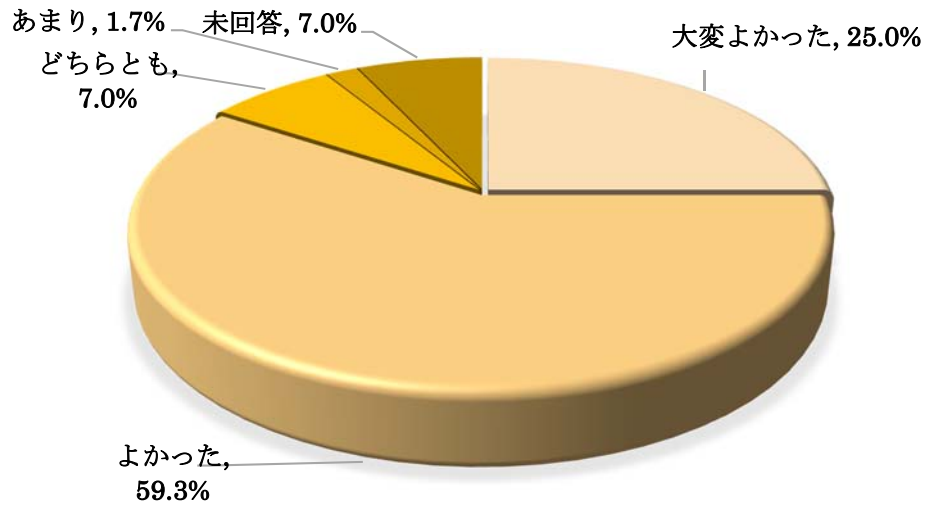
3 プログラム中、基調講演について、内容はいかがでしたか？

大変難しい：	11名
難しい：	11名
丁度よい：	140名
易しい：	10名
<hr/>	
合計：	172名



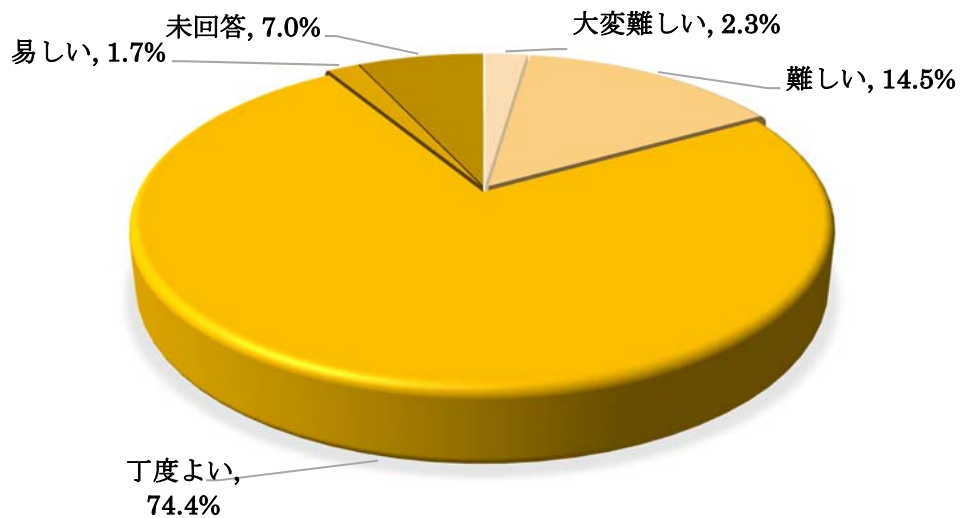
4 プログラム中、パネルディスカッションについて、全体としてはいかがでしたか？

大変よかった：	43名
よかった：	102名
どちらとも：	12名
あまり：	3名
未回答：	12名
<hr/>	
合計：	172名



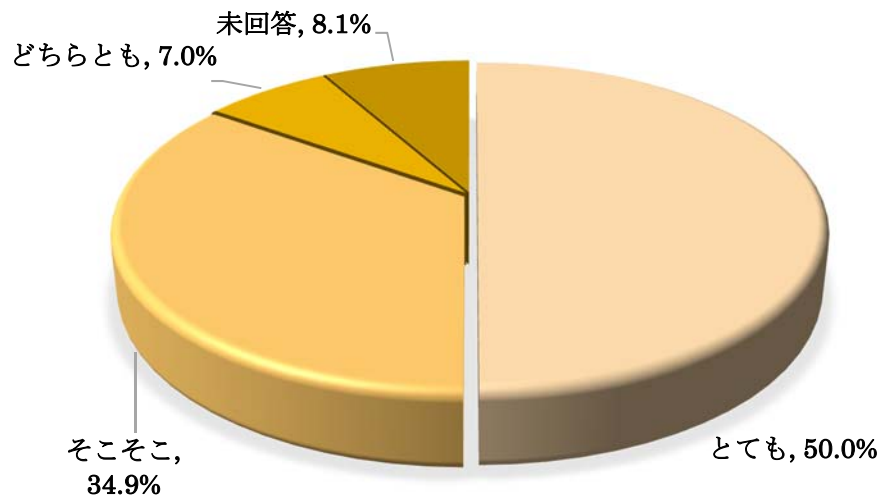
5 プログラム中、パネルディスカッションについて、内容はいかがでしたか？

大変難しい：	4名
難しい：	25名
丁度よい：	128名
易しい：	3名
未回答：	12名
<hr/>	
合計：	172名



6 市民向けのシンポジウム・フォーラム等に、次回も参加したいと思いますか？

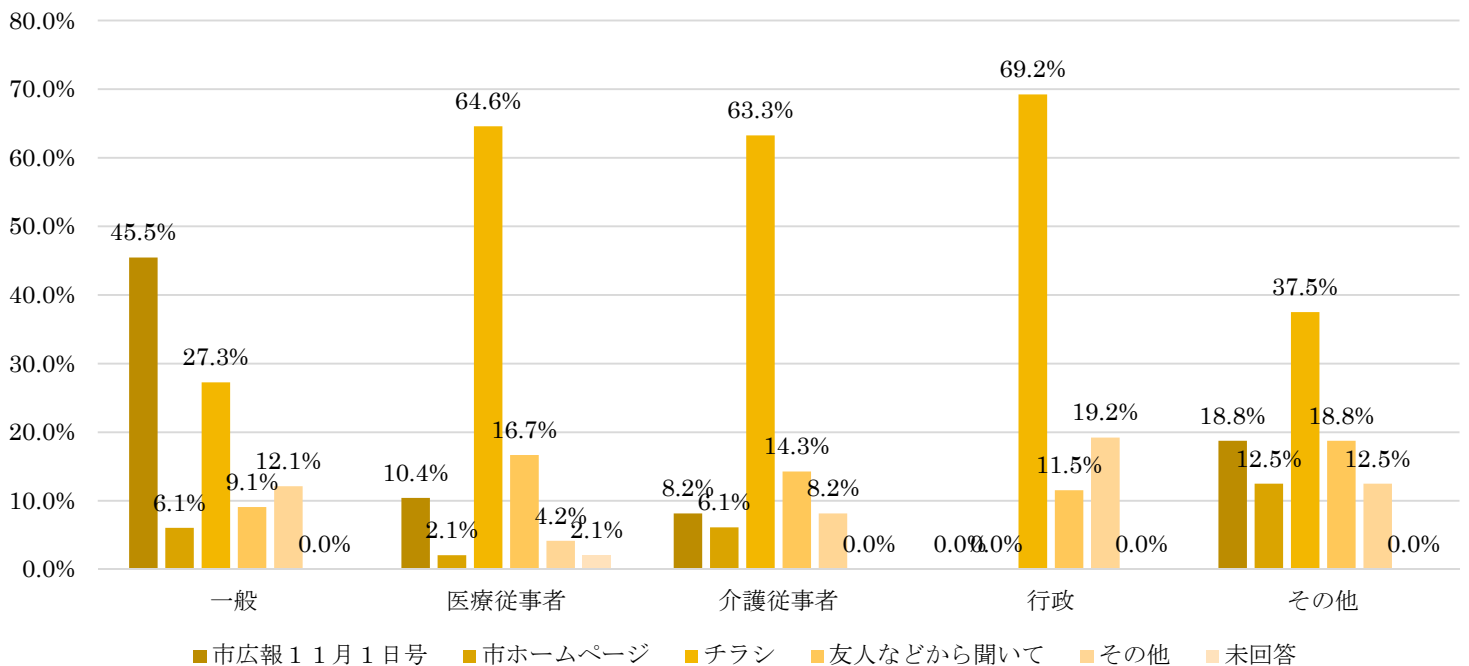
とても：	86名
そこそこ：	60名
どちらとも：	12名
未回答：	14名
<hr/>	
合計：	172名



【アンケート結果：職種別比率】

1 本シンポジウムについて、どこでお知りになりましたか？

	市広報 11月1日号	市ホーム ページ	チラシ	友人など から聞いて	その他	未回答	
一般	45.5%	6.1%	27.3%	9.1%	12.1%	0.0%	100.0%
医療従事者	10.4%	2.1%	64.6%	16.7%	4.2%	2.1%	100.0%
介護従事者	8.2%	6.1%	63.3%	14.3%	8.2%	0.0%	100.0%
行政	0.0%	0.0%	69.2%	11.5%	19.2%	0.0%	100.0%
その他	18.8%	12.5%	37.5%	18.8%	12.5%	0.0%	100.0%
全体	15.7%	4.7%	55.2%	14.0%	9.9%	0.6%	100.0%



【事務局所感】

一般の方が本シンポジウムを知ったツールとして、「市広報」が45.5%と高い値となっています。

特集記事として掲載されたことも周知効果が高くなった大きな要因と考えられますが、多くの市民の方にお知らせしたい内容については、広報を活用していくことがとても有効と考えられますので、今後も引き続き、積極的に広報を活用していきます。

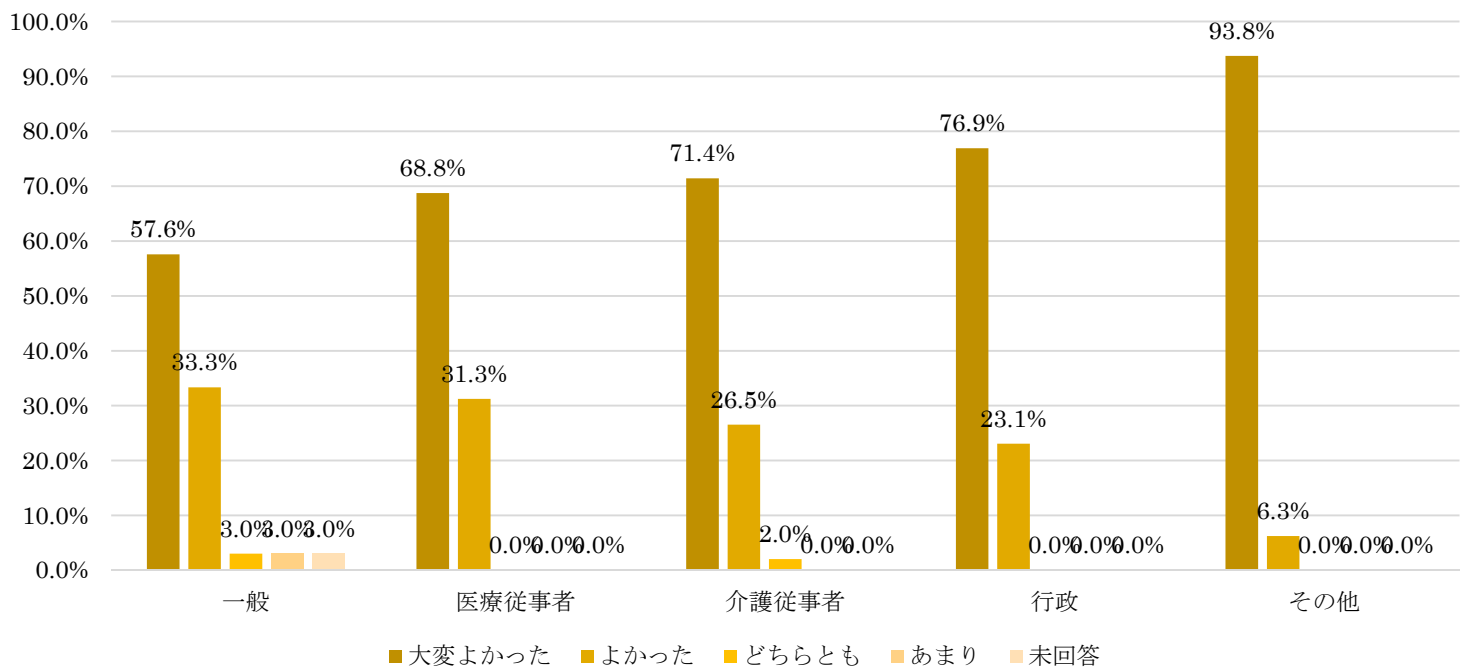
全体としては、チラシでの周知効果が非常に高く、全体の55.2%となっています。

今後も引き続き、シンポジウム等の内容の充実を図り、受講者満足度の向上を目指すとともに、その魅力をしっかりとお伝えできるようなチラシ作成に努めていきます。

また、より多くの方に知ってもらえるよう、その他様々な媒体、様々な場での啓発もしっかりと行っていきます。

2 プログラム中、基調講演について、全体としてはいかがでしたか？

	大変よかった	よかった	どちらとも	あまり	未回答	総計
一般	57.6%	33.3%	3.0%	3.0%	3.0%	100.0%
医療従事者	68.8%	31.3%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%
介護従事者	71.4%	26.5%	2.0%	0.0%	0.0%	100.0%
行政	76.9%	23.1%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%
その他	93.8%	6.3%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%
全体	70.9%	26.7%	1.2%	0.6%	0.6%	100.0%



【事務局所感】

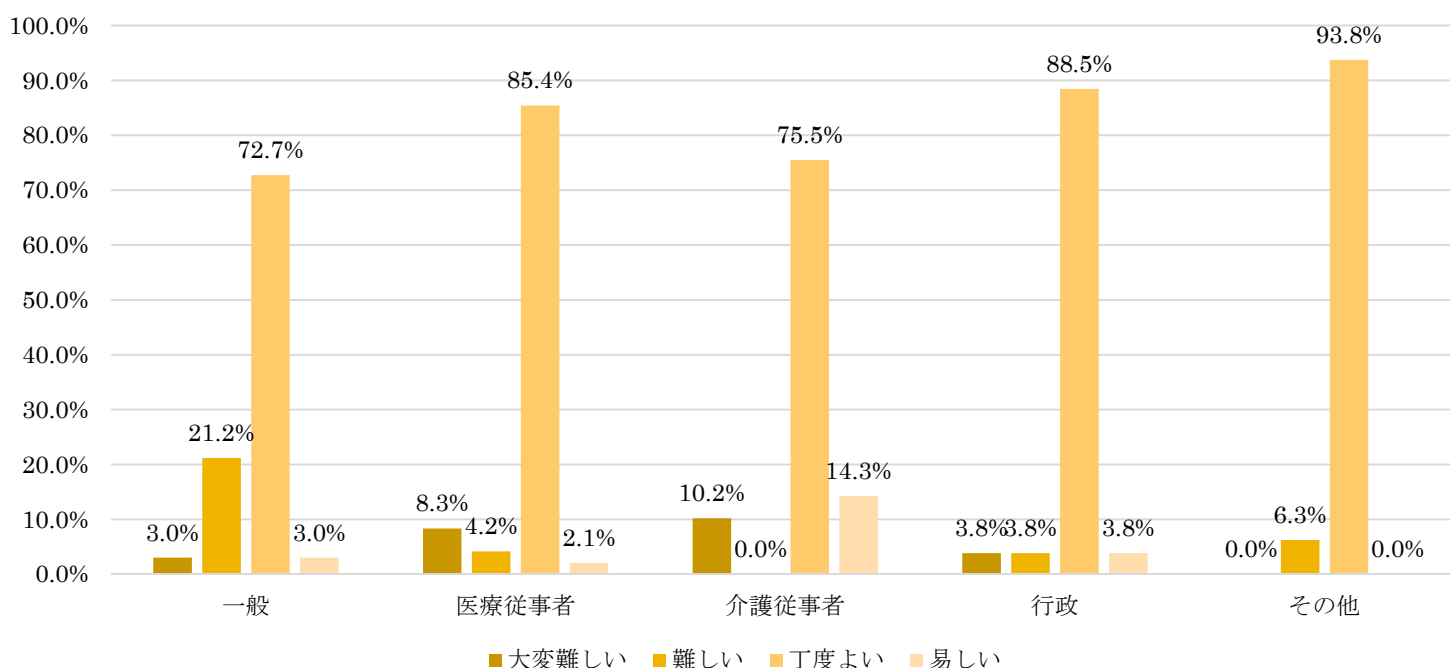
職種を問わず、「大変よかった」、「よかった」の合計値が9割を超えています。

受講者満足度が非常に高く、基調講演講師の太田様に心から感謝するとともに、今後も引き続き、多くの方から今回のような評価をいただけるよう、内容の更なる充実、講師調整等に努めていきます。



3 プログラム中、基調講演について、内容はいかがでしたか？

	大変難しい	難しい	丁度よい	易しい	総計
一般	3.0%	21.2%	72.7%	3.0%	100.0%
医療従事者	8.3%	4.2%	85.4%	2.1%	100.0%
介護従事者	10.2%	0.0%	75.5%	14.3%	100.0%
行政	3.8%	3.8%	88.5%	3.8%	100.0%
その他	0.0%	6.3%	93.8%	0.0%	100.0%
全体	6.4%	6.4%	81.4%	5.8%	100.0%



【事務局所感】

一般の方は、「大変難しい」、「難しい」の合計値が24.2%となっており、比較的、難しいと感じる方の割合が高めとなっています。

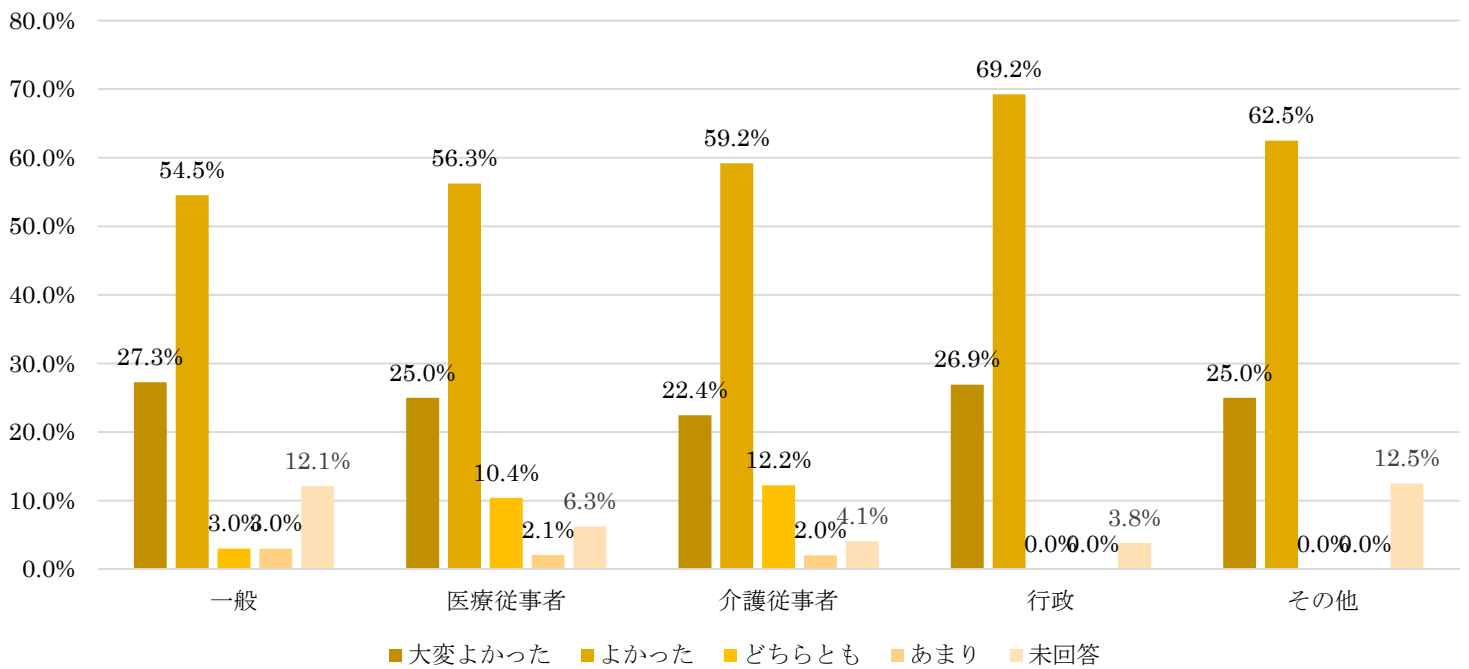
また、介護事業者の方は、「大変難しい」の値が10.2%に対し、「易しい」の値が14.3%となっており、難易度についての感じ方にバラツキが見受けられました。

簡単ではないこと、理解が難しいことも中にはありますが、そういったことも含めて、多くの方に知っていただく機会を創出すること自体が本シンポジウムの目的の一つとなっていますので、全ての方にとって「丁度よい」難易度とすることは難しいですが、全体としては、「丁度よい」の値が81.4%となっており、難易度は適当であったと考えられます。



4 プログラム中、パネルディスカッションについて、全体としてはいかがでしたか？

	大変よかった	よかった	どちらとも	あまり	未回答	総計
一般	27.3%	54.5%	3.0%	3.0%	12.1%	100.0%
医療従事者	25.0%	56.3%	10.4%	2.1%	6.3%	100.0%
介護従事者	22.4%	59.2%	12.2%	2.0%	4.1%	100.0%
行政	26.9%	69.2%	0.0%	0.0%	3.8%	100.0%
その他	25.0%	62.5%	0.0%	0.0%	12.5%	100.0%
全体	25.0%	59.3%	7.0%	1.7%	7.0%	100.0%



【事務局所感】

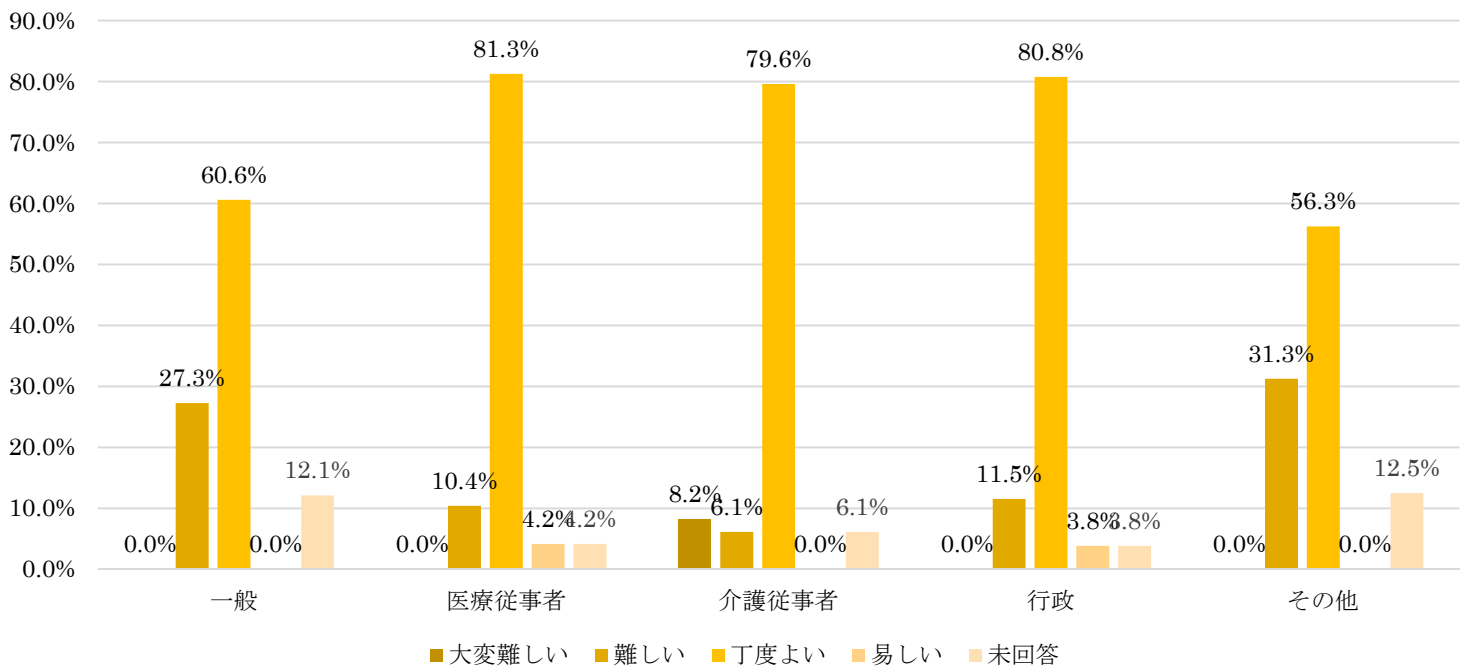
職種を問わず、「大変よかった」、「よかった」の合計値が8割を超えています。

受講者満足度が高く、ファシリテータ、パネリストの皆様から心から感謝するとともに、今後も引き続き、多くの方から今回のような評価をいただけるよう、内容の更なる充実、講師調整等に努めていきます。



5 プログラム中、パネルディスカッションについて、内容はいかがでしたか？

	大変難しい	難しい	丁度よい	易しい	未回答	総計
一般	0.0%	27.3%	60.6%	0.0%	12.1%	100.0%
医療従事者	0.0%	10.4%	81.3%	4.2%	4.2%	100.0%
介護従事者	8.2%	6.1%	79.6%	0.0%	6.1%	100.0%
行政	0.0%	11.5%	80.8%	3.8%	3.8%	100.0%
その他	0.0%	31.3%	56.3%	0.0%	12.5%	100.0%
全体	2.3%	14.5%	74.4%	1.7%	7.0%	100.0%



【事務局所感】

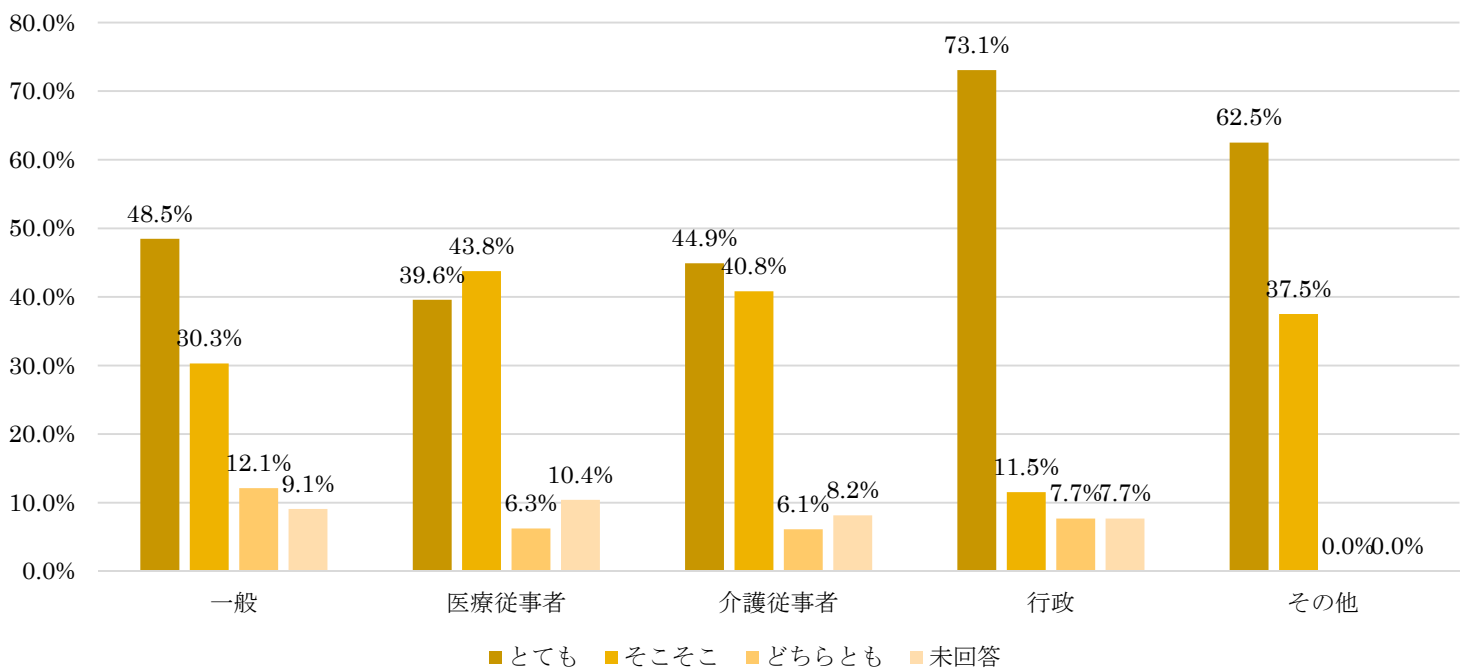
一般の方は、「難しい」の値が27.3%、その他の方は、「難しい」の値が31.3%となっており、比較的、難しいと感じる方の割合が高めとなっています。

基調講演と同様、簡単ではないこと、理解が難しいことも中にはありますが、そういったことも含めて、多くの方に知っていただく機会を創出すること自体が本シンポジウムの目的の一つとなっていますので、全ての方にとって「丁度よい」難易度とすることは難しいですが、全体としては、「丁度よい」の値が74.4%となっており、難易度は適当であったと考えられます。



6 市民向けのシンポジウム・フォーラム等に、次回も参加したいと思いますか？

	とても	そこそこ	どちらとも	未回答	総計
一般	48.5%	30.3%	12.1%	9.1%	100.0%
医療従事者	39.6%	43.8%	6.3%	10.4%	100.0%
介護従事者	44.9%	40.8%	6.1%	8.2%	100.0%
行政	73.1%	11.5%	7.7%	7.7%	100.0%
その他	62.5%	37.5%	0.0%	0.0%	100.0%
全体	50.0%	34.9%	7.0%	8.1%	100.0%



【事務局所感】

全体としては、「とても」、「そこそこ」の合計値が84.9%となっており、受講者満足度が高く、次回参加への動機付けとしても効果的であったと考えられます。

一方、一般の方は、「とても」、「そこそこ」の合計値が78.8%となっており、高い値ではあるものの、全体と比較すると少し低めの結果となりました。今後より一層、一般の方を中心に、次回も参加したいと思っていただけるようなシンポジウム・フォーラム等の企画運営に努めていきます。



【記述回答部分】

※原則として、ご記入いただいた方全ての自由意見をそのまま掲載しています。(順不同)

○ 自由意見（一般）

- 太田先生のお話の時間をもう少しとって欲しかったです。
在宅医療について、少しですが分かりました。
- 今回、基調講演がすばらしかったです。(本当のプロフェッショナルで話も上手)
次回以降も講師選びが重要と思います。
- 今回のシンポジウムが豊川市民全体にどのようにフィードバックされるのか、興味深々です。
- 在宅医療・介護をするにあたっての情報が少ないと思います。(3年前に母の介護をしていた時も本当に困りました。)

在宅医療に対応してくれる先生や、在宅歯科診療に対応してくれる歯科の先生も分からずに困ったので、そういった情報の一覧(地域別)などを整備して欲しいです。

(ケアマネさんもはっきりとは答えられなかった)

在宅医療・介護に対する不安(=むずかしさ)を無くしていく提案がまだまだ足りないと思います。

- 「人としてどう考えるのか?」という部分を問うものが必要かと思います。
「在宅医療・介護を支援します。やりましょう!」と言われても、人間的成長の無い方が看ることはむずかしいと思います。私が子育てしながら看護や介護を続けられるのは、家族の支えがあり、サービスがあるからだと思いますが、「お金を払うからやってもらって当たり前」という考え方では、うまくいかないのが現状かと思います。
子ども3人(中2、小2、年中)も本当にやさしいのは、住み慣れた自宅があってこそだと思っています。選択肢は様々としても、介護=特養という考え方は違うと思います。
- 介護という言葉は、簡単だけど、3人の介護と3人の子育てをしてきた自分は本当に辛かったです。保育園でも冷たい事を言われたりしたこともあり苦しみました。
もっと介護の大変さを市の方でも伝えて欲しいと思います。
「特養に入れればいい。子どもがかわいそう」なんていう事を言われても、出来ない現状を知らない人に説明すること自体が嫌でした。そんな思いをする人を今後作りたくないです。
- 内容が難しかったです。
- パネルディスカッションについて、パネリストからもう少し具体例を挙げながらの話があれば、なお良かったと思います。
- もっと何回もやって欲しいと思います。
- 在宅医療・介護をしている利用者の情報交換ができる場があるといいと思います。
- 市内の医療情報はメモ程度(データとして)でも参加者に配布するとよいと思います。

- 介護保険事業計画、高齢者福祉計画を27年3月には策定すると思われます。27年度は、こうした計画を中心とした講演会はフォーラム形式で良いので市民への周知をお願いしたいと思います。
- 市民向けの理解しやすい内容ではなかった気がします。もう少し市民向けに広く意見が聞きたかったです。
- 是非、次回も参加したいです。
- 今回のような市民参加のOPENフォーラムは有難いです。
- 太田先生の笑いを交えた講演は楽しく、いろいろな事を知ることができました。ありがとうございました。
- 地域包括ケアシステムは地域住民が作り上げていくものだと思います。
- 在宅医療については、在宅での質がどうなのかがやはり心配になると思います。これから在宅医療が増えるとして、医療体制が十分確保されているのかどうか。介護についてはほぼ体制が確保され、保険・サービスについても行政で作られています。しかし、家族の負担をより軽減出来るようにレベルを上げる必要があると思います。（施設を作る、費用が増加した場合は介護者へ補助）
- 豊川市から、地域の実態（サービス事業者、行政、地域）の問題点の提起や取り組みの紹介をして欲しいです。
- 核家族化で介護する人、経済的に共稼ぎなどで介護出来ない人が増えてきていると思います。
- 市、医師会他が真剣に在宅医療を考えていることに好感を持ちました。小規模多機能型居宅介護について初めてよくわかりました。
- 在宅医療の必要性等がよくわかりました。
- 自宅で介護している親への訪問について、いくつか疑問を感じていた事の答えになった部分もありました。
- 基調講演の時間が短く感じました。もう少し時間を取って頂きたかったです。第二部についても時間が短く感じました。
- 車の運転が出来ない人はなかなか出席できません。自宅の近くでの開催があると良いと思います。
- 在宅医療、介護を必要と考えます。いつまでも自宅で暮らしたいと思いますが、介護する環境もとても関係すると思います。老々介護になった場合、24時間介護は、やはり不安があります。使えるケア（サービス）を上手に使って在宅でいたいと思います。
- 太田先生の講演は、行政法について解りやすく理解できる様にお話頂きためになりました。パネルディスカッションでは、市民の質問に解りやすく大石先生、鈴木先生、志田さんが説明頂き為になりました。
- 実際の治療、薬剤についての講演を聴きたいと思いました。
- 豊川市に住んで良かったと思えるまちづくり、地域包括ケアシステムを構築して欲しいです。
- パネルディスカッションについて、パネリストの講演はレジュメを早口で読み上げる

のではなく、一般の人向けに例を挙げて分かりやすく（他の人は知っている）説明をして欲しいと思いました。

医師、訪問看護師、ケアマネ、介護職員等の連携（話し合う機会をもっと持つ）がまだ希薄な気がします。これがツーカーでなければ利用者は安心できないと思います。

- 市民向けのシンポジウムなどでは、専門的な言葉をなるべく使わないで、ゆっくり平易な言葉で説明して欲しいと思います。
- 訪問医師の方の情報が少なく、病気になってからアタフタするような気がします。どこに連絡をとったらよいかもわかりません。今だにヘルパーさん（介護）を利用することに抵抗を感じている家族もいると思います。

○ 自由意見（医療従事者）

- 訪問をして下さる医師は足りていますか？
24 時間体制だと快く受けて下さる医師が不足しているように聞きます。
訪問看護ステーションは、在宅医療を進める為に十分足りていますか？
訪問看護師の育成が必要だと思います。
- 医療と介護の連携について、パネルディスカッションでもありましたが介護職→医療職の連携がむずかしいとの印象があるようです。どんな連携をとってどんな結果を出したいのかを明確にしておく必要があると考えています。医療職に対してアレルギー的に若手意識がありそれで連携が難しいと考えている場合には、対策法が違ふと思いますし、考えなくてはならない課題だと思います。
- 現在訪問看護師をしています。（高齢者住宅にて）利用者の方がデイサービスに行きたくないと朝ごねても、無理やり出していることもあります。太田先生の話聞いて、何が本人の為に一番良いのかを考えさせられました。
- パネルディスカッションに行政の方の参加が無く、具体的に行政はどうしていくのかといった意見が聞けなかったのが残念でした。
- 基調講演の太田先生の話が分かりやすく楽しい講演だったので、参加できて良かったです。
- 勤務している中で 24 時間 365 日対応が当たり前になっていましたが、現状、その体制づくりが難しいという問題点に正直驚きました。
- 高齢者住宅に勤めています。利用者様の状態が悪化した場合は入院と考えていましたが、家族の意向をきちんと聴いてから、どうするかを考えていかなければいけないと思いました。でも、それには夜間でも連絡がとれる医師が必要だと思います。
- 豊川市内に在宅医療、介護に関係する施設など思っていたより多く存在すると感じました。病院で働く私としては、病院に勤務する看護師は、患者様に回復期・療養の病院を勧めるだけでなく、在宅医療・介護についても知っておくべきと改めて思いました。
- 勉強になりました。ありがとうございました。
- 太田先生の講演がよかったです。
- 大病院からの退院の後は「在宅では往診して下さる医院の先生に診てもらおう」という

訪問看護師さんの意見について、一般の方は、`大きな病院`思考が未だに抜けないと思います。

太田先生のお話はとても分かりやすく、楽しめて、聞いているうちに在宅のことが自然と分かりました。

- 在宅で一番大切な事は「介護力」だとおっしゃった鈴木先生のお言葉が心に残りました。
- 地域包括ケアについて、行政の考え方が分かりました。
- 開業医に勤務している看護師です。かかりつけ医を持ちましようと言われる昨今、開業医看護師ができることはどのようなことなのかを考え中です。(在宅ケアと密接なはずなのに・・・とても遠いような)
- 会場が寒かったです。
- 病院でできる事は、ほとんど在宅でも可能となっているとの事でした。
医療従事者で訪問看護にかかわるうえで、スキルアップのための勉強が必要だと思いました。
- 医療従事者だけでなく、一般の介護者又は今後介護される側となるだろう高齢の方の参加も見られ、在宅医療を考えるのにとっても良い時間でした。
またの機会も期待します。
- ポータブルエコーや、レントゲンなど市で購入し在宅医院の医師に貸し出すシステムはどうでしょうか。わざわざ病院まで行かなくてもすむので、介護者も患者も負担が少なくすむと思います。
- 各々の立場、職種でお願いしたいことがあると思いますので、地域への支援をお願いする病院のスタッフも交えたシンポジウムやフォーラムがあるとよいと思います。
- 地区ごとに細かい在宅の勉強会をしても良いと思います。(高齢者だけでなく)
在宅部門で訪問薬剤師も紹介して欲しかったです。
高齢者の増加に伴い、介護者が高齢となり在宅は無理な人もいます。施設の特徴なども機会があったら教えてください。
- 「医療が支配した生活は不幸である」確かにと思えました。
- 今後、一般市民に向けて自宅で看取る、自宅で看たいと思えるようなシンポジウムなどを開催して頂きたいと思います。
- 本シンポジウムに参加して在宅医療の大変さ、難しさを改めて知ることができ、さらに勉強の必要性を感じる事ができてとても良かったです。
- 訪問看護に従事しています。まだまだ一般の方が訪問看護について知られることは少ないので、こういった機会があることで、少しずつでも浸透していただければと思います。そして、利用されることになった時には思いを尊重し、利用してよかったと思われるように関わり合いたいと思いました。もっと知ってもらうためには、ケアマネジャーや病院の看護師、医師等との、常日頃の関係づくりに努めるようにしないといけないと感じています。
- 市民の方がもっと意見を出しやすくするためには、もっと小さな集まりから話がされ

るといいのでしょうか。

○ 自由意見（介護従事者）

- 今後、在宅医療は広まっていくべきだと思うので、今行われている事例を沢山知ることが出来てよかったと思います。地域包括ケアシステムを根付かせていくために、私自身が出来る事を考えていきたいと思います。
- 市民、行政、専門職が理解し分かっていくべきことを、今後もシンポジウム等で行っていくとよいと思います。
- 自分は介護従事者なので気にならないですが、医療や介護にあまり詳しくない市民の方を対象にした場合、専門用語、業界用語、言い回しが分かりにくいのではないかと思います。
今回は、大石先生が説明してくださったので良かったのですが、配慮が必要なことだと思います。
- 太田先生のお話がとても良かったです。私も心がけているのですが、ホットなハート、クールなヘッドを実践されているところ、お手本にしたいです。
- 改めて、市民の皆様と関係職種みんなで作っていくものだと感じました。
- とてもいいシンポジウムだったと思います。
広く市民に知ってもらうために、さらに広げていく役割をキーパーソンとなる人達に担ってもらい、普及啓発が進むと良いと思います。
- 障害の分野でも在宅医療、多職種連携がとても重要である事を日々感じており、まだまだやるべき事が多いなと改めて確認させてもらいました。
- 太田先生のお話がとても興味深く、もっと聴きたいと思いました。
ありがとうございました。
- パネルディスカッションの議題の内容をもう少し分かりやすくして欲しいです。
議題をスライドに流して欲しかったです。
多職種と言っているのに、リハの先生が居ないのはおかしいと思いました。
- 業界の方のみではなく、市民の方も多く参加されていると感じました。
- 各種サービスの活用方法の具体例を市民向けにアピールできると、多くの方の安心に繋がると思います。
- 豊川市は、他の市町村よりも在宅医療を推進していると思いました。
- 一般市民の参加が少ないように感じました。
- 一般市民向けのイベント（65歳これから講座・ちから塾など）で、少しずつ、本日のパネリストが市民にお願いしたい内容が伝わればよいと思いました。
- 沢山の参加者がいてよかったと思います。ありがとうございました。
- 手話通訳があり、市民参加の支援体制が整っていたと思います。
社会的入院増加や病院信仰等、医療の流れを含め、講演はよく分かりました。
ユーモアがあり、楽しく聴くことができました。
- 在宅医療できる病院・医院のマップがあれば、市民にとって分かり易いかと思います。

関心が高い人は参加されますが、関心のない人は知らないなので、一般市民の方がもう少し知ることができるよう、広報等に報告号をのせてもらえればと思います。一般市民の皆様にも知ってもらいたい内容だと思います。

- 大病院の医師にも聞いて欲しい内容と思いました。医師が変わり、市民が変わらなければ、在宅医療は進まないかと思います。
- 細かいことですが、言葉が不揃いなことがあります。例えば、「ケアマネジャー」、「ケアマネージャー」など。
- 市民と医療介護関係者が参加しており、発表者の意図がどこまで伝わっているのか不安な面もありました。パネリストの堀川訪問看護師が話をされた「セルフケア」はとても大切だと思います。
- 国の考えに伴い、豊川市も在宅に力を入れているのがわかり、今後も注目していきたいと思いました。今後増加していくであろう在宅介護に少し不安を感じます。
- 在宅医療の実現は、家族の力によると思います。
- 老健の待機期間は短いですが、3ヶ月での退所の為延々と特養待ちはできません。小規模多機能ホーム（→同施設、同じスタッフの為なじみ易い）は、認知症の方にもベストだと思っています。
ロングショートについて入所させてしまうのは、との思いで在宅を頑張ってみえる家族（介護者）もあります。
- 市民の方が多く参加されていて、関心が高いことに気が付きました。
介護保険制度をもっと理解して、どんどん活用してもらえるといいなと思いました。
- 大変良かったです！！
シンポジウム・フォーラム等に参加して感じる事、感じた事。必ずといって、多職種協働を挙げられます。介護施設で仕事をしている中でも協働が難しい状態です。在宅支援で実際に関わりを持つようになって、多職種、看護、介護の連携がなかなか出来ないです。利用者の立場になっていない場合があったり、職種別の主張が強すぎる場合もあります。
- 誰にでも訪れる死。死に対する不安のみが先行する日々ではなく、よく生れ、よく生きてよく死ぬ！もしかしたら明日かも知れないけど、いつか逝く道を日頃から考え見つめる機会、そういったことを市民向けシンポジウム・フォーラムで取り上げ、身近に話し合いが出来たら良いと思います。
- 在宅医療をもっともっと普及させてもらいたいです。そして、在宅で診察されている先生も、例えば、「あまり知らないけどAさんお願いします！」と、すでにケアマネがいるのに他のケアマネにお願いしてしまうようなことがないよう、介護保険についてもっと知っていただきたいと思います。
- 次回は、豊川市において、実際に多職種で関わっているようなケースを医師、訪問看護師、ケアマネ、事務所その他インフォーマルで関わっている方も含めてパネルディスカッションが行えると現実味があると思います。
- 今回のようなシンポジウムなどを、文化会館のような広い場所でもっと市民を巻き込

んで行って欲しいと思います。

- 豊川市で活躍している在宅療養支援診療所でも、ポータブルエコー、ポータブルレントゲンなどを備えて、さらに活躍してほしいと思います。（行政で補助してもらえないでしょうか）こういったことが実現すれば在宅医療、多職種協働がさらに活発に働くと思います。

サービス付高齢者住宅でのサービスのあり方について、住宅によって差があるように感じます。

- 医師、看護師、ケアマネ、介護職が一つの会場で、市長はじめ、市民の方々と直接話げできた意義は大きいと思います。
- 知らなかったことを知ることができたり、理解が曖昧だったものが明確になりました。周りの方にも話して伝えたいと思います。
- 介護医療の方だけでなく、一般の方、行政、他の職種の方が同じ話を聞くことはとてもよかったと思います。
- 医療介護多職種と市民の皆さんを交えたシンポジウムでしたので、一般の市民の皆さんが、この会を通じて感じた素直な疑問を聞く事ができ、とても意義のある会だったと思います。今後も内容を色々と考え、開催していただきたいと思いました。
- こういった場所での法人のPRはどうかと少し思いました。
- 行政、市民（家族）、事業者が一体となって構築できる市になればと思います。
- ケアマネと医師の関わり方について、医療で働いたことの無い者は、医師に対して見えないバリアがあります。あれは良くない、これは悪いというよりも、ああいうやり方が良かったとか、こうゆう聞き方をして欲しいとか良い例を上げてくれる方がわかりやすいと思います。
- 地域包括ケアシステム、在宅療養について、豊川市はよく考えていると思いました。
- 出来る範囲でよいですが、グループワークの機会があればなおよいと思います。
- 在宅医療には、多職種の方が関わっており、また連携がとても大切だと感じました。パネリストの方の中で、そういった連携により、できなかった事が出来るようになるのではないか・・・という言葉が印象に残りました。連携の強化は容易なことではないと思いますが、自分の立場で出来ることを共有していきたいと思いました。
- 訪問看護がいかに必要なのか、少し理解することができました。今後は、それぞれのステーション内で具体的にどうやって行っているのか、掘り下げて教えて頂けるとありがたいと思います。
- 訪問看護をさせて頂いて年数が浅いので、手探りの状態で看護をさせて頂いていましたが、根本的に訪問看護とは何か・・・を知る事が出来て、自分にとって一歩前進できた気がします。現状、看護師同士でも情報の共有がなかなか出来ないなので、今後、少しずつ共有、連携が図れるように考えていくいい機会になったかと思っています。

○ 自由意見（行政）

- 多職種がこのように連携して豊川のまちづくりを考えていることを実感し、素晴らしいと思いました。
豊川に合った地域包括ケアシステムを創っていきましょう！！
- 医療が動いてくれる地域づくり、家族が自宅で介護をしようと思える地域づくりが大切だと感じました。
太田先生のお話は素晴らしく、先生のような医師がこの地域に増えていっていただけると市民の安心につながると感じました。
- 市民、医療介護従事者、行政の関係を良好に保ち、全ての方が自分ごととして、住みやすいまち・住みたいと思われるまちづくりを進めていけるとよいと思いました。
- 空調について、少し寒いと感じました。
- 太田先生の話は自然と惹きこまれる感じで、とても頭に入りやすかったです。
- 東三河共同開催で、地域同士の結びつきについてのシンポジウムもあればいいなと思いました。
- 本日は、本当にありがとうございました。
- 在宅医療・介護、地域包括ケアシステムは、人づくり、まちづくりだと思いました。
- 内容としてはかなり難しい内容であるにもかかわらず、それを、かなり分かりやすく説明していただけたと思います。
地域を創っていくにあたってとても重要な事であり、全ての方が「自分に関係ない」では済まされなくなっていると思います。
- 地域に居る人それぞれが意識を持つ必要があり、それに向けて取り組む必要があると思いました。
- 歯科医師との連携、歯科衛生士が行う口腔ケアなどについて、もっとこの地域のことを聞きたいと思いました。
- 市民の方への啓発はとても大切なことだと思います。
興味が薄い方に対して、いかにして興味を持ってもらうか、地域全体に広げていくにはどうしたら効果的かといったことを検討していく事が大切だと思います。
- 太田先生のお話は、在宅医療の本質を、ユーモアを交えて楽しく学ぶことができ、とても感動しました。
- 大石先生がとても熱心なのがわかり心強く感じました。
太田先生のお話がとても為になりました。
- 予想以上に参加者が多く、びっくりしました。（若者も多かったと思います。）
- 私事ですが、現在、92歳になった親がいるため、今後、本日のシンポジウムでの講演を思い出し、役立てたいと思いました。
- 今回は、もう少し若い世代（40歳代以下）の参加者が少ないように感じました。
メインとなるターゲットを設定した場合、そのターゲットが参加しやすいような内容を検討することで、参加者を増やすことができると思います。

- 毎年度継続して実施していただきたいです。
テーマを絞って、年に数回開催してもよいと思いました。
- 会場が満員でよかったと思います。
もう少し大きいホール（勤労福祉会館など）での開催も検討してみてもいいでしょうか。
- 在宅医療・介護、地域包括ケアシステムについて、皆さんがどのような考え方をしているのか学べて良かったと思います。
大変興味深い話、ありがとうございました。
- 一般の方が質問できる時間を増やすとよいと思いました。
- 介護側は、医療にもものすごく高いハードルを感じていると思います。
これを打破するには、医療側から「降りて来ていただく」事が必要なかと思えます。
残念ながら、医師、看護師には何も言えないという介護職の方が多くは、現状として事実だと思えます。
「対等」な多職種協働ができればとても素晴らしいと思います。

○ 自由意見（その他）

- 市民全体に情報を提供する方法を考える事が必要だと思いました。
- どのようにして主治医を探していくのか知りたいと思いました。
- 豊川市で訪問診療をしてくれる医師が増えることを望みます。
- 基調講演については大変分かりやすく、今後の業務で参考になると思いました。
- 太田先生の講演はとても良かったです。
在宅での看取りが豊川でも増えていくとよいと思いました。
- 市長がシンポジウムに参加されており、行政のやる気を感じました。
- 本日のように、日曜日の午後の開催がベストだと思います。
- 大変分かりやすい基調講演を聞かせて頂き、勉強になりました。
次回も、シンポジウムなどには是非参加させて頂きたいです。
- 主治医、家庭医の必要性、ケアマネの質の向上の必要性、退院調整看護師が在宅医療・介護の理解を深めることの必要性、住民が在宅医療・介護を学び、考えることの必要性などについて、学びや気づきがありました。
- 在宅医療・介護と病院との関係等について認識を深めることができ、将来のためになりました。
訪問看護等の支援体制が現状ではまだ弱いと感じますので、これの充実、PRが課題ではないかと思えます。
- パネリストそれぞれの意見を聞いて良かったです。
- 介護保険改正で、国や豊川市において、今後どのような取り組みがなされていくのか気になりました。
- 在宅医療、介護について知ることができ、大変参考になりました。
豊川市がモデル事業として推進している事を知りませんでした。

このようなシンポジウムを通して、さらにPRして頂ければよいと思いました。
ありがとうございました。

在宅医療・介護が増加した場合、医師、看護師、介護師も不足するのではないのでしょうか。在宅医療・介護を推進するには、生活支援の充実が必要ではないかと思います。

- 思っていたよりも分かりやすくよかったです。
会場の広さなどもちょうどよいと思いました。
- 関心を持って何度か参加することでわかることがあると思いました。
- 連携について何となく分かってきたので、今後の利用の参考にさせていただきます。
- 医療介護連携においても在宅がキーワードになっている訳なので、認知症の課題については、初期診断を医療においてどのように考えるのかが大切なことになってくると思います。
広域連合で介護保険料の保険者統一も検討されています。核となる豊橋の医師会等にもこの課題を豊川の医師会との交流により共有して頂けると、行政から働きかけるときもスムーズに行くと考えます。特に、市民の認知症に対する偏見を変えていくためには、行政同士が協力していかねばならないと思います。
- 在宅医療の内容がよく分かりました。

アンケートにご協力、ありがとうございました。

全体、職種ごとでのデータや貴重なご意見等をたくさん得ることができました。

これらのデータやご意見は、今後、シンポジウム・研修等を開催する際に活用させていただきます。

